

問1 「ツバメと雨の言い伝え」では、ツバメがどのように飛んだときに雨が降ると言われていますか。

問2 台風は災害をもたらすだけでなく、大雨を降らせることで、私たちの生活にどのような良い影響を与えることがありますか。

問3 空に雲がまったく見当たらないときの「雲の量」は、どのように表しますか。

問4 空全体を10としたとき、天気が「晴れ」になるのは、雲の量がどの範囲のときですか。

問5 日本のはるか南の海上で発生し、北へ向かって進むことが多い、強い風や短い時間の大雨をもたらす気象現象は何ですか。

問6 台風のまわりをふく風は、どのような形の流れになっていますか。

問7 台風の目の部分では、天気や風の様子はどのようになっていることが多いですか。

問8 台風が近づいて強い風や大雨になると、どのようなことが起こるおそれがありますか。

問9 気象衛星の画像は、どこからの情報をもとにして、何を表したのですか。

問10 空全体を10としたときに、空に見えている雲の割合を表したものを何といいますか。

問11 夕焼けが見えると、次の日の天気はどのようになると言われていますか。

問12 台風の強い風で木がたおれたり、大雨でこう水が起きたりして、人々の生活に大きな被害が出ることを何といいますか。

問13 空全体を見わたしたときに、雲が空をおおっている割合のことを何といいますか。

問14 「わた雲」とも呼ばれる積雲は、どのような天気の日によく見られる雲ですか。

問15 「夕焼けが見えると、明日の天気は晴れになる」というように、昔からの言い伝えによって天気を予想することを何といいますか。

問16 台風による災害のうち、台風がもたらす「大雨」が原因で起きるものはどれですか。